

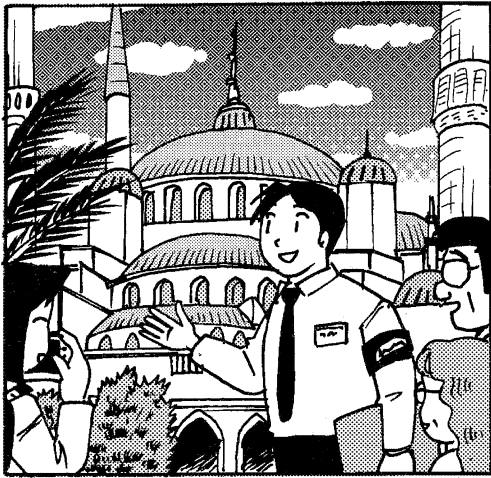
賃貸住宅業界 情報サロン

トルコで異文化体験 ムスリム理解広めたい



AMプロジェクト (東京都北区) 渡部堅路代表 (37)

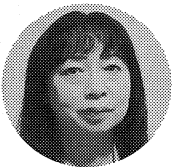
かつて旅行添乗員として3年程勤めていたというAMプロジェクト(東)



「英語でのやりとりが単純に楽しかった」と渡部代表は当時を振り返る。

大学進学後は英語学科で英語力を磨く毎日。日常会話では不自由しないまでに上達した。言語を習得すれば、より多くの人とコミュニケーションを取りたいと思うのが当然だろう。「効率的に海外に行くためには・・・」そう考えた結果、選んだのが添乗員の仕事だったという。数十カ国を訪問したなかでも印象に残っていたのが、イスラム教の国、トルコだ。モスクで祈りをささげる民衆の姿は、まさに異国そのものだった。同時に、イスラム教の性質や奥深さにも感銘を受ける。現在は訪日ムスリムの受け入れ・接客サポートを手がけている。

子供の人格形成と 寺社仏閣の存在

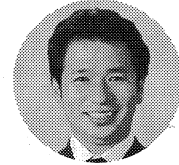


環境エネルギー総合研究所 (東京都中央区) 大庭ひゆき代表

環境エネルギー総合研究所 (東京都中央区) の

大庭ひゆき代表は、10年ほど前、子供の成育と住環境が与える影響について研究発表を行ったことがある。全国の小学生を対象にいくつかの地域で環境に関する授業を受けたことが研究を始めるきっかけとなった。地域ごとに人間的特徴の違いが見て取れたという。その研究によると、例えばニュータウンと呼ばれる新興の住宅地にある小学校では、コミュニケーションが上手にとれない子供たちと数多く接す

毎月欠かさず復興支援、現地では顔なじみも多数



日本クレード (東京都文京区) 大関真悟 CEO (37)

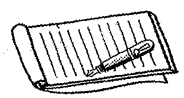
投資用不動産販売の日本クレード(東京都文京区)の大関真悟CEOは、3・11の震災以降、毎月欠かさず仲間十数人とともに被災地に出かけては復興支援を行っている。ラーメン炊き出し隊の盛り上げ部長として大活躍。光子さんは「指圧の心は母心」で有名な浪越徳次郎氏の学校を卒業した立派な指圧師だ。家族と協力して被災地の復興を支える大関氏のもとには、感謝状や手紙が被災地からは集会所で指圧を、姉は遠藤優子さんは、ラ

取材のウラ窓

S県のある大学では、来日した人物とわかってから、留学生の受け入れに際して周囲から批判を浴びた出来事があった。それは十数年前にさかのぼる。受け入れを積極的に進めていた同大学だったが、不法就労者を大量に出したことが問題

ることになった。過度の清潔さを求めるあまり、自宅以外のトイレでは用が足せなかったり、高齢者が触れ合ったことがないために、高齢者と手が繋がない子供がいたり、調査の中でたどり着いたのは寺社仏閣が子供たちの成長に良好に寄り添っている。

視されていた。大学側も、不法就労を目的に



編集 往来

「今日から私という。」「なんだ突然。このことをカワチと呼んでくれないか？」と嘯みつく小野悠史に「金城湯池。小野さんのしつこいアプローチから身を守るためです」ときっぱり。すっかり黙り込んだ小野を見るに、佐藤、否、河内の作戦は成功したようだ。

夫の姓を名乗ることにする。突然。

独自の工法で 床下を有効活用



アイビビジネス エキュレション (東京都大田区) 星野一廣社長 (66)

成に繋がるかと大庭代表は感じている。

「住環境の中に日常とは異なる世界を持つ存在があることで畏怖の念が醸成され、他者に対する想像力が生まれていると感じました」(大庭代表)。

「一時的な世代ではなく、様々な人が住む住環境こそ、子供の良好な人格形成に繋がるかと大庭代表は感じている。」

「床下を有効活用することで、床下に高さ60cmの大きなスペースを確保することが可能です」(星野社長)。収納にも使え、階下への振動も抑制できる。今後ルネス工法の存在感を高めていきたいですね」

富士銀行(現みずほ銀

件を下口長、本戸社デ

エヌエストラスト

経営と連携

東京都八王子市

界へ

て初め

いませ

らすな

を本

サの

の社

とし

王子

カー

ポ

王子

の

の

の

の

ト3珍浩
エ9でも本
エが界杉
エ業界杉
エが界杉
エ業界杉
エが界杉
エ業界杉

エヌエストラスト

経営と連携

東京都八王子市

界へ

て初め

いませ

らすな

を本

サの

の社

王子